

サッカースタジアム等の整備について

令和2年10月15日
都市圏魅力づくり推進課

1 概要

本年3月に策定した「中央公園サッカースタジアム（仮称）基本計画」に定める整備方針（ビジョン・コンセプト）等の実現に向け、サッカースタジアム等の整備に係る整備手法及び全体事業費等の状況を報告する。

2 整備手法等

サッカースタジアム等の整備に係る次の項目について、方針を整理。

(1) 整備手法

① サッカースタジアム等

早期の供用開始を可能とし、性能発注により民間のノウハウ活用と効率的整備が両立できる設計・施工一体となった「DB（デザイン・ビルド）方式^{※1}」とする。

DB方式の発注範囲はサッカースタジアムのほか、広場エリア、ペDESTリアンデッキを含むものとする。また、DB方式の発注方法は、公募型プロポーザル方式（設計・施工一括タイプ）とする。

② 広場エリア（にぎわい施設）

公共の財政負担の軽減効果、民間事業者の提案の自由度及びにぎわいの創出効果が見込めるため、「Park-PFI^{※2}方式」とする。

(2) 発注の手順

スタジアム及び広場エリアの発注時期について、事業スケジュールへの影響や、それぞれの事業で最適な提案を行う事業者を選定するため、サッカースタジアムの事業者選定を行った後に、広場エリア（にぎわい施設）の事業者選定を行うこととする。

※1 DB（デザイン・ビルド）方式

従来の公共事業では、設計（Design）と施工（Build）を分離して発注するが、DB方式は設計及び施工を一体として発注する方式。

※2 Park-PFI

飲食店・売店等の公園利用者の利便の向上に資する施設の設置と、当該施設から生じる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる施設の整備・改修等を一体的に行う民間事業者を公募により選定する制度。

3 全体事業費等

サッカースタジアム等の設計・施工一括発注の内容や、広場エリアのにぎわい施設のPark-PFI事業による整備内容等を基に算出した事業費は以下のとおり。なお、最終的な事業費は、事業者選定後、当該事業者の提案額等を踏まえて決定する。

事業内訳	金額
実施中（R2当初市予算）	9.30億円
埋蔵文化財発掘調査，土壤汚染状況調査，募集・選定支援業務	
R3～6債務負担行為予算	257.04億円
サッカースタジアム，広場エリア，ペDESTリアンデッキ	
R3以降に実施	4～5億円
広場エリア（Park-PFIによる特定公園施設整備），設計・施工管理業務	
合 計	約271億円

(参考) R3～6 債務負担行為予算として広島市議会で可決されたサッカースタジアム等に係る事業費の財源構成案（見込み）

債務負担行為限度額 257.04 億円			
国・県支出金	一般財源	地方債	その他
122.87 億円	13.087 億円	58.083 億円	63 億円

※事業費，財源内訳については現時点での広島市の想定であり，今後変動する見込み。

※県支出金については，市と県で合意しているものではない。

4 事業のスケジュール

- ・ 令和2年度 : 設計・施工の発注，事業者選定
(令和2年10月(予定) : 公示(サッカースタジアム等整備に係る事業者の公募開始))
- ・ 令和3年度～令和6年度 : 基本・実施設計，建設工事，開業

5 県の考え方

設計・施工に係る事業者募集に当たり，サッカースタジアムと広場エリアに求められる機能等について，県としての考え方を次のとおり整理した。

今後，建設推進会議等において4者で議論を重ね，実現を目指して取り組む。

(1) 集客目標

広域からの集客及び広域的な波及効果があることを目指して，高い目標を置き，広島市域のみならず，県内外からそれぞれどの程度集客するかを議論する。

(2) 施設の機能

大きな考え方として，次の視点を踏まえ，ア～ウのような機能の具体化を議論する。

【視 点】

- ・ 広島市域からにとどまらず，県内外から広く集客すること（ここに行きたいと思わせること）
- ・ 広島県全体，23市町の魅力をアピールし，県内各地に誘導すること

【機 能】

- ア 中四国全域をはじめ，広域から集客が期待できる機能
- イ 広島魅力を発信・体験できる機能（飲食，観光，文化，産業，県産材の活用など）
- ウ 各種イベントの実施（広域の集客が期待できるものや23市町が参画できるものなど）